

平成２９年度 社会福祉法人淳邦会 事業報告

特別養護老人ホーム のぞみ荘

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

ケアハウス オパール

デイサービスセンター オパール

オパール居宅介護支援事業所

福田高齢者支援サブセンター

グループホーム ひなぎく

平成 29 年度 事業報告

特別養護老人ホーム のぞみ荘

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

利用者の日常生活の場として施設サービス計画に沿っての生活の援助を行うことができた。利用者の個々の訴えをできるだけ尊重した援助を行うと共に、ご家族と連携を行い一時帰宅などの個別対応も行うことができた。

一方、職種間の連携においては、日々の状態把握・情報収集に引き続き努めると共に、利用者が安心して生活が送れるよう情報の共有化を行った。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

法人による出前講座（ふくふく堂）の開催や地域の行事に積極的に参加することで、地域の方々との交流を深めることが出来た。一方「地域における公益的な取り組み」に対しては具体的に取り組むことが出来なかったのが今後の課題の一つである。

ショートステイの受け入れについては、緊急での継続利用を希望される利用者に対応できるよう円滑に対応することができた。

・優秀な福祉人材を育成する

施設内研修を行い職員の専門的知識のレベルアップを図ることが出来た。一方で、外部研修に参加する機会が減少したため、他の施設で行っている取り組みなど学べる機会が減ってきている。

実習生を受け入れることで、実習生担当になった職員も実習生の対応や反省会などを通してともに成長することができた。。

・人が活きる職場環境を整備する

業務の効率化を図るため感知式ベッドの導入、腰痛予防対策などを実施して、働き甲斐のある職場環境整備に努めた。

・安定した経営を継続する

退所者数は 29 年度、28 年度とほぼ同数であった。円滑に入所対応できるよう努力することが出来たが、一方入院日数が増加したこともあり、稼働率 94.4%となり目標の稼働率 95%を達成することができなかった。

ショートステイは、新規利用者を開拓することもできたが、定期的に利用されていたケースが中止になることも多く見られ、稼働率 57.2%で、目標の 75%を大きく下回る結果となった。30 年度事業計画で掲げたホームページを有効活用し空き状況の開示、行事の案内などについてより発信度を強め、目標に向けて情報を提供し稼働率向上を目指していく。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

リスク委員会を中心に身体拘束廃止、不適切ケア防止への意識向上に努めた。身体拘束については解除に向けて様々な職種と連携しながら取り組みましたが、解除に至らず一部解除にとどまっている。

消火避難訓練においては、回数としては少ないが行うことができた。

平成 29 年度 事業報告

地域密着型特別養護老人ホーム のぞみ荘

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

「その人らしさを大切に」を目標に掲げ、ご利用者の望みは何か、普段の生活で望みを聴きだし意思を尊重したサービスの提供を行った。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

地域の行事に積極的に参加することができ、また運営推進会議を通じて地域の方やご家族との交流を深めた。また「地域における公益的な取り組み」に具体的に取り組むことが出来なかったのが今後の課題の一つである。

- ・優秀な福祉人材を育成する

施設内研修をおこない職員の専門的知識のレベルアップを図ることが出来た。

また、専門性のユニットケア研修に参加することが出来た。

実習生を受け入れることで、実習生担当になった職員も実習生の対応や反省会などを通してともに成長することができた。

事業所間を超えた人事異動を実施することができた。

- ・人が活きる職場環境を整備する

業務の効率化を図るためナースコールの改善や腰痛予防対策などを実施。また、職員が働きやすいよう育成推進室室長による職員教育など、前年度同様に職場環境整備に努めた。

- ・安定した経営を継続する

円滑な入居対応を図ることで前年度より 1.2%の稼働率増加を達成するも 94.2%で、目標である 95%を達成することはできなかった。引き続いて経営安定のために稼働率向上を目指す。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

リスク委員会を中心に身体拘束廃止、不適切ケア防止への意識向上に努め、安心・安全・快適な生活環境をめざし、居住空間の環境整備に努めることで介護事故の減少に結び付けることが出来た。

消火避難訓練においては、消防署立会いの下での訓練も行い職員一人ひとりの防火に対する意識が向上した。

I 入所者の状況

【入退所状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所者	0	1	1	2	0	1	2	0	1	1	2	3	14
退所者	1	1	0	2	0	3	0	1	0	1	5	4	18

【介護度別入所者延べ人数】

従来型(50)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護2	90	93	90	93	62	60	62	60	62	62	56	31	821
要介護3	180	183	174	217	186	160	210	171	158	186	198	285	2308
要介護4	625	665	639	634	627	617	543	510	555	570	467	527	6979
要介護5	532	526	485	555	558	533	575	604	608	609	544	593	6722
稼働率	0.97	0.97	0.95	0.99	0.94	0.93	0.92	0.92	0.91	0.94	0.92	96.9	0.94

地域密着型(20)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	29	23	31	358
要介護3	150	140	104	124	124	125	155	140	168	184	171	215	1800
要介護4	258	256	262	225	242	240	248	195	217	187	168	155	2653
要介護5	150	155	150	160	186	180	186	180	186	186	164	186	2069
稼働率	0.98	0.94	0.91	0.87	0.94	0.96	1	0.91	0.97	0.95	0.94	0.95	0.94

注)入所者数は、医療機関への入院者は除く

【要介護度】

平成30年3月31日 現在

	1	2	3	4	5	平均要介護度
従来型	1	2	6	17	20	4.15
ユニット型	0	1	6	5	7	3.95
合計	1	3	12	22	27	4.09

【面会状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
平均面回数	3.9	4.8	4.8	4.9	4.8	4.2	4.5	5.1	5.7	5.9	5.9	5.8	5.4
〃 延べ人数	148	142	165	165	154	153	138	154	169	197	193	178	

II 短期入所(ショートステイ)の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
利用人数	25	24	22	26	26	31	30	28	26	24	25	28	26.3
利用延べ日数	278	319	299	369	360	372	374	393	372	332	345	363	348.0
人数／1日	9.3	10.3	10	11.9	11.6	12.4	12.06	13.1	12	10.7	12.3	11.7	11.4
平均介護度	3.07	2.93	2.97	3.26	3.30	3.33	2.83	2.93	4.09	3.17	3.25	3.12	3.19

(別紙 1)

○個別外出・行事について

	従来型特養 3 階	従来型特養 4 階	地域密着型特養
4 月	お花見 個別外出 おやつづくり	お花見 (瑜伽山～福田公園)	お花見 (福田公園・種松山) おやつづくり
5 月	一時帰宅 おやつバイキング	個別外出 (2 件)	一時帰宅 個別外出 (3 件) おやつづくり
6 月	一時帰宅 個別外出 お好み焼きパーティー	個別外出 そうめん流し	個別外出 (5 件) そうめん流し おやつづくり
7 月	個別外出 そうめん流し おやつづくり	個別外出 花火	個別外出 (3 件) 鉄板焼き おやつづくり
8 月	おやつづくり		個別外出 (2 件) おやつづくり
9 月	おやつづくり	個別外出	個別外出 (4 件)
10 月	一時帰宅	カラオケ大会	個別外出 (3 件) さんま焼き
11 月	鍋パーティー おやつづくり	カラオケ喫茶	種松山ドライブ 個別外出 (2 件)
12 月			個別外出
1 月	施設内初詣	施設内初詣	初詣 (瑜伽山) 個別外出 (2 件)
2 月	節分	節分	節分 鍋パーティー
3 月	すきやき会	個別外出	個別外出 (5 件)

○地域との交流

- ・ 福田南町内会夏祭りへの参加
- ・ 福田公民館文化祭への参加 (作品の出展)
- ・ クリスマス会でのゆりかご保育園との交流
- ・ 瑜伽神社敬老感謝祭への参加

○稼働率について

	平成 28 年度		平成 29 年度	
	従来型特養	地域密着型特養	従来型特養	地域密着型特養
平均稼働率	95.1%	93.0%	94.4%	94.2%
退所者人数	13 名	4 名	12 名	6 名
入院者人数	30 名	8 名	28 名	15 名
入院日数	646 日	370 日	945 日	349 日
短期入所稼働率	63.8%		57.2%	

平成 29 年度 事業報告

在宅支援部
ケアハウス オパール

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

お茶会や季節行事等、ご利用者同士の交流の場は設けるなどサービスの提供を行った。

また、定期的な訪問を行うことにより、些細な変化も見逃さず早期に対応することによりご利用者との信頼関係がより強くなった。

- ・ **優秀な福祉人材を育成する**

職員同士、福祉に関係する新聞や雑誌の切り抜きを持ち寄るなど職員の専門知識のレベルアップを図る。また、外部の研修にも積極的に参加し学び得た情報や知識を共有することで研鑽を積むことに励んだ。

- ・ **業務管理体制（法令等遵守）を徹底する**

ご利用者の大事な個人情報を扱っているということを常に考え、USBの使用、緊急時以外の紙媒体の持ち出し禁止、施設内での職員同士の私語を慎み噂話が外部に漏れるのを防ぎ、勤務中でも席を外す際は書類を引き出しの中にしまうか裏返しにし目に触れないようにしたりと細心の注意を払いながら他職種間と個人情報の共有に努めたが、忙しさや気の緩み、職員の入れ替わり等から意識が薄れていく場合もあり、ケアハウス内に限らず法人全体でコンプライアンスについての定期的な研修や、張り紙による注意喚起を行うなど日々の意識を高め維持する努力は必要だと感じた。

I 入居者の状況

【入居状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	180	186	175	155	155	150	155	150	155	139	112	124	1836
女 性	240	266	270	279	279	270	279	270	279	279	252	279	3242
合 計	420	452	445	434	434	420	434	420	434	418	364	403	5078

【退居状況】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男 性	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
女 性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2

【年齢構成】 平成30年3月31日 現在

年 齢	60～70歳	71歳～80歳	81歳～90歳	91歳以上	合 計
人 数	1	2	7	3	13

II 介護状況

【要介護度】 平成30年3月31日 現在

介護度	非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	2	0	2	2	6	1	0	0	13

【介護サービス利用状況】 平成30年3月31日 現在

介護サービス	ホームヘルプサービス			デイサービス	デイケア	福祉用具 レンタル
	生活援助	身体介護	介護タクシー			
利用人数	8	3	8	9	2	8

平成 29 年度 事業報告

在宅支援部
デイサービスセンター オパール

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

オパールに来ることを楽しみとして、また在宅生活に活気を持って過ごせる関わりを行うことを職員間で確認し、その方に必要な支援を個別に行えるよう努めた。

カラオケの機器を導入し、利用者が楽しみ・喜びを感じられる活動の手段として様々な場面で活用した。

また、ご家族の意向にも応えられるよう情報共有を重視し、細やかな支援に努めた。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

地域活動（ふくふく堂・児童発達支援センタークムレの園児受け入れ）に積極的に職員が参加し、地域との交流に努めた。

・優秀な福祉人材を育成する

施設内外の研修へ積極的に参加した。認知症に対する理解をより深めるなど人材育成に努めた。

また、事例研究に取り組み、「岡山県老人福祉施設職員研究発表会」で発表し、中国地区大会への推薦を受けた。

職員の離職防止にも努め、定着率が高まった。根拠ある指導、指導後のフォローを意識し、支えあうことのできるチーム作りに努めた。また、個別面談の機会を設け、精神面の援助を行った。

・安定した経営を継続する

稼働率向上を意識した運営を行い、稼働率を前年の 46.2%から 60.1%へと向上することができた。

向上に向けた取り組みとして、居宅介護支援事業所から助言を受け、オパールの強み、弱みを分析すると同時に、競合する同業他社の状況を分析した。他のデイサービスを見学し、運営の参考にした。また、外部講師を招いて研修を開催し、デイサービス運営について全員で学ぶ機会を設けた。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

在宅支援部長が不在となり、法令を遵守するためには、法令を把握することが重要と考え、情報収集と相談を密に行いながら、業務管理体制の構築をすすめた。

介護事故に対して、ひやりはっとの活用は継続して行っているが、病院受診を伴う事故が 1 件あった。原因や対策について職員間で話し合う機会を持ち、再発防止につなげるようチーム作りを行った。

I 利用者の状況

【利用状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	8	9	9	8	8	9	7	8	0	0	0	0	66
要介護1	57	80	86	93	87	131	159	149	113	113	125	117	1310
要介護2	84	109	126	116	115	123	125	128	149	140	138	151	1504
要介護3	67	72	57	59	54	43	43	47	48	41	34	49	614
要介護4	20	28	26	29	43	32	34	30	12	13	9	13	289
要介護5	7	8	9	8	6	7	5	0	12	13	16	17	108
合 計	243	306	313	313	313	345	373	362	334	320	322	347	3891
営業日数	23	23	21	21	21	22	22	22	21	20	20	22	258

【年齢構成】 平成30年3月31日 現在

年 齢	40～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
人 数	2	1	2	14	15	34

【要介護度】 平成30年3月31日 現在

介護度	要支援1	要支援2				
人 数	0	0				
介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	10	16	5	1	2	34

平成 29 年度 事業報告

在宅支援部
オパール居宅介護支援事業所

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

利用者が入院される際には、病院に足を運び、口頭で説明するように努めた。「医療・介護連携シート」を活用し、利用者や家族の状況など、必要な情報を提供した。

退院前には病院主催のカンファレンスに参加し、利用者・家族の意向を踏まえ、医療、介護関係者と情報共有し、在宅生活再開の準備を行った。身体状況の変化を伴う場合は、介護者の不安も大きい傾向にあり、在宅生活継続に向けた相談、援助を行った。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

利用者の住んでいる地域の避難所（小・中学校、公民館、病院、公園、スーパーなど）と世帯状況に応じた色分けして、防災マップを完成させた。今後は、予測される自然災害の状況を落とし込むなどバージョンアップをしていきたい。

・人が活きる職場環境を整備する

目標としていた「ケアマネジメントに直結した研修の年 6 回以上の参加」は達成できた。関心がある研修には、プライベートでも参加して自己研鑽できている。

・安定した経営を継続する

稼働率は平成 28 年度の 59.0%から 72.1%と増加することが出来た。

新規利用者は介護・介護予防合わせて月平均 1.3 件であり、相談に至る経路としては包括支援センター、他の居宅事業所からの引きつぎ、本人・家族からの相談であり、包括支援センターからの予防の紹介が半数以上であった。

包括支援センター以外からも相談が増えているため、新たにパイプが出来た事業所と継続して連携できるよう努めていきたい。

終結するケースは永眠 2 件、施設入所 6 件であったが、本人の意志(介護保険サービス利用なし、他の居宅に変更)で終結するという新たな傾向もみられた。

平均介護度は、要介護 1.9(予防含まず)。総人数の 20%が介護予防のため、軽度者(要支援 1～要介護 1)の割合が高いという特徴がみられる。今の状況を維持でき、在宅生活が長く継続できる支援と新規を柔軟に受け入れる対応が必要である。

I 利用者の状況

【年齢構成】 平成30年3月31日 現在

年 齢	～64歳	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合 計
人 数	3	4	14	30	10	61

【要介護度】 平成30年3月31日 現在

介護度	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人 数	11	18	21	8	3	0	61

【月別利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護給付	52	52	51	52	53	49	50	51	49	49	46	50	604
介護予防	6	7	8	8	8	10	10	9	10	10	9	9	104
総合事業	1	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	28
計	59	61	62	63	64	62	63	62	61	61	57	61	736

II サービス利用状況

平成30年3月31日 現在

種 類	訪問介護	通所介護	短期入所	福祉用具貸与	その他	合 計
人 数	16	22	6	31	35	110
うち淳邦会利用		9	3			12

平成 29 年度 事業報告

在宅支援部
福田高齢者支援サブセンター

- ・ **利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する**

電話相談や訪問活動を通して個人の相談を受ける時には、サービスにつながるような相談だけではなく、その方が生活の中で感じていることや考え方など話を聞くこともある。

個人の困りごとに対して介護保険につなげたり、他の福祉施策を利用するなど対応しているが、住み慣れた地域で生活を続けられるように、地域全体の課題の把握までにはつながっていないので今後の課題だと考えている

- ・ **地域福祉の拠点となる活動を実施する**

民生委員や愛育委員、老人会の総会などに毎年参加させていただき、地区の高齢者支援センター全体で挨拶と活動の報告などを行っている。

また、地域に出て移動相談会を行い PR にも努めている。職員の顔を見るとどこかの行事などで会ったことがあると覚えて下さっている方も増えているが、「高齢者支援センター」という名前とは一致していないことも多く、PR だけではなく行事や活動と一緒に参加することが今後も大切だと感じている

I 総合相談事業等実績報告

		電話	来所	訪問	その他	合計
介護予防事業		0	0	0	0	0
総合事業		0	0	0	0	0
予防給付		0	0	0	0	0
権利擁護		0	0	0	0	0
高齢者虐待	身体的	0	0	0	0	0
	経済的	0	0	0	0	0
	精神的	0	0	0	0	0
	性的	0	0	0	0	0
	介護放棄	0	0	0	0	0
福祉相談・手続代行		28	16	42	0	86
介護保険・手続き代行		14	3	7	0	24
健康・医療		19	14	33	0	66
高齢者以外を対象		0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
合 計		61	33	82	0	176

平成 29 年度 事業報告

在宅支援部
グループホーム ひなぎく

・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

食事については献立の立て方や提供の仕方、季節毎の様々な行事等で一人ひとりの状態に合った提供を行い喜ばれた。

家族と利用者担当が作成するお便りや、家族会では個別茶話会などを開催するなど、一層の情報交換を重ねケアプランに活かす等、これまで以上のサービスの提供に努めた。

・地域福祉の拠点となる活動を実施する

地域の活動は一部の職員しか参加することができなかったが、施設内で実施している運営推進会議は、職員が順番に参加することで、職員が地域を身近に感じられるようになった。会議に参加してくださった方々にも、施設内の様子を今まで以上に把握して頂けるよう努めた。

また、認知症マイスター研修の実習を受け入れることにより、地域との繋がりが広まり、地域が求める認知症理解の重要性とその対応を改めて考えることが出来た。

・優秀な福祉人材を育成する

施設内外研修に積極的に参加することで介護知識・技術などの習得につなげ、日々のケアに活かすことができた。

・安定した経営を継続する

入院やのぞみ荘への入所などにより、空室の期間がみられたため、稼働率は今年の90.1%から86.8%と減少した。

一方、職員は昨年よりも少ない配置で対応したことで経常増減差額は昨年との比較では改善した。

・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

ミーティングや連絡ノートなどの活用で情報共有を密にすることで、必要な記録の整備や適切なケアの提供を促し、ミスが減少した。

また、マニュアルの見直しにより上下階で統一したケアが実践できるよう改善を図った。

I 入居者の状況

【入居状況】 延べ人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	30	40	30	31	31	60	62	60	32	62	56	62	556
要介護2	211	205	180	217	271	270	279	240	186	189	196	217	2661
要介護3	60	87	77	93	93	120	124	140	155	155	140	127	1371
要介護4	55	46	30	31	31	30	31	30	31	15	39	62	431
要介護5	59	67	83	62	52	60	62	60	62	62	56	62	747
合 計	500	447	400	434	476	540	558	530	496	483	487	530	5881
人数／日	16.6	14.4	13.3	14.0	15.3	18.0	18.0	17.6	16.0	15.5	17.3	17.0	16.1

注)入居者数は、医療機関への入院者は除く

【要介護度】 平成30年3月31日 現在

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均要介護度
人 数	2	7	4	2	2	2.71

【年齢構成】 平成30年3月31日 現在

年 齢	65～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
人 数	2	10	5	17

平成 29 年度 事業報告

育成推進室

- ・利用者の意思を尊重した質の高いサービスを提供する

要望が高度化、多様化しているなか、高齢者福祉施設職員として求められる「やり方」と「あり方」を常に念頭に置いたサービスを提供できるよう働きかけた。

- ・地域福祉の拠点となる活動を実施する

「ふくふく堂」を福田南公民館で3回開催し、地域の方々に参加していただいた。

また、地域福祉に法人としてどのように貢献することが出来るのか、プロジェクトチームを中心に検討を重ねた。地域のニーズを把握するため、地域を支える活動を行う方々との関係作りと情報収集に努めた。高齢者支援センターを中心に実施している認知症マイスターの実習受け入れを積極的に受け入れ、関係を構築することが出来た。

- ・優秀な福祉人材を育成する

法人の求める人材を獲得し、成長できる職場環境を整えることを目標に取り組んだ。6名の新卒職員を迎え入れ、新人研修を行った。各部署に配置した育成を担う職員と連携して指導を行った。

成長の機会（施設内・外研修、委員会活動、資格取得支援、研究発表）を創出、活用し、育成をすすめた。

採用に関しては3名の新卒職員を獲得することができた。介護福祉士養成校（川崎医療短期大学、中央高校、翔南高校）から依頼を受け、施設職員として学生に求めることをテーマに授業を行うなど、今後の福祉を担う学生の育成を養成校と連携して行った。

- ・人が活きる職場環境を整備する

それぞれの職員が持つ特性を把握して、適材適所の役割を任命し、前向きに働けると共に、適正な評価が行える環境作りをすすめた。利用者、ご家族、職員の声を大切に、現状を把握することを心掛け、早期の問題解決に努めた。

- ・安定した経営を継続する

利用者の確保が困難になってきている現状のなか、同業他社との差別化を意識した運営を行った。選ばれる法人となるよう積極的に情報を発信し、ブランドイメージを高めることを目的とした活動を行った。

「数字」の理解を深め、「サービスの質と経営を両立」を意識した運営を行った。

- ・業務管理体制（法令等遵守）を徹底する

職員一人ひとりが自らの役割を担ううえで把握しておくべき法令を理解することを目指し、多方面から情報を収集し、伝達、共有することを心掛けた。

平成 29 年度 行事研修等実施一覧表

実施日		行事名
4 月	3 日	新規採用職員、異動職員辞令交付式、入職式、新人研修
	12 日～	認知症マイスター実習受け入れ
	15 日	デイサービス 日帰り旅行
5 月	5 日～	感染症研修（食中毒）栄養委員会
	20 日	ひなぎく家族会
	23 日～	介護福祉士養成実習生受け入れ（特養・デイ・GH）11 月まで 受け入れ校 - 倉敷中央高校、倉敷翔南高校、川崎医療短期大学
	27 日	ふくふく堂（健康チェック・健康体操）
6 月	26 日	口腔ケア研修（横見歯科医院）
7 月	1 日	デイサービス家族会「ふくろう会」
	1 日～	そうめん流し（各部署）
	4 日～	水島中学校 チャレンジワーク受け入れ
	6 日	児童発達支援センターくもれ児童との交流（12 月まで毎月実施）
8 月	7 日～	夏のボランティア 受け入れ
	12 日	福田南町内会夏祭り
	19 日	くるみまつり
	28 日	福祉の職場見学体験ツアー受け入れ
	29 日	資格取得勉強会（外部講師） H30.1 月まで全 6 回開催
9 月	18 日	敬老の日記念式典
	20 日	中堅、人材育成担当職員研修（外部講師）
10 月	17 日～	感染症研修（インフルエンザ・ノロウイルス）感染症委員会
	19 日	ケアハウス日帰り旅行
	31 日	介護職員研修（外部講師）
11 月	9 日	地震対応訓練
	18 日	ふくふく堂（子供対象 ドッグショー、福祉車両体験、ゲーム）
	22 日	相談員研修（外部講師）
	23 日	在宅支援部秋祭り
12 月	14 日～	認知症マイスター実習受け入れ
	22 日	クリスマス会（特養）
	28 日	もちつき
1 月	13 日	デイサービス研修（外部講師）
	8 日～	初詣（施設内・外）
	21 日	ふくふく堂（100 歳体操）
	25 日	施設内研究発表会
2 月	23 日	岡山県老人福祉施設職員研究発表会にて発表